

3年生保護者の皆さまへ

令和元年11月15日
(2019年)

吹田市立第一中学校
校長 田中和彦

平成31年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、3年生を対象として「平成31年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月中旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて発表しております。

この調査は、中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、今年度測定されたものは国語・数学・英語の3教科に限られており、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取組を進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善を図ってまいります。

各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習や家庭生活の参考にさせていただきますようお願いいたします。

1. 教科に関する調査結果の分析

【国語】 ……本校生徒の平均正答率は、「話すこと、聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」のすべての領域において全国平均正答率を上回る良好な結果であった。また、無回答率は全国平均を下回っており、意欲的な姿勢が結果によく表れている。

《各領域の状況・課題》

話すこと・聞くこと

- ・話し合いの方向を捉え、相手に分かりやすく伝えるための基礎的な技能が身についている。
- ・自分の考えを持つ点に課題がある。

読むこと

- ・文章を読み、その内容に対する自分の考えをもつ技能が身についている。
- ・情報を整理し、内容を捉える点に課題がある。

書くこと

- ・伝えたい事柄の根拠を明確にしながらか述べる技能が身についている。また論の展開にふさわしい語句や論の展開を検討する姿勢が身についている。

言語事項

- ・封筒のあて名書き等、社会生活において必要となる基礎的な技能が身についている。
- ・それぞれの文章にふさわしいことばを考える習慣が身についている。

【今後の指導改善方針について】

- ◇ さまざまな場面で情報を整理し、その情報を使いながら自分の考えを持ち、述べる力の育成を行う。
- ◇ 言語に関する基礎的な事柄はもちろん、言葉の多様性に着目し、それぞれの場に応じた言葉を使う力の育成を行う。
- ◇ 話し合いの流れを読み取り、自分の発言のタイミングを的確に捉える力の育成を行う。



【数学】 ……本校生徒の平均正答率は、「数量や図形などについての知識・理解」、「数学的な技能」、「数学的な見方や考え方」のすべての観点において全国値を上回る結果であり、すべての領域においても平均正答率が全国を上回る良好な結果であった。

《各領域の状況・課題》

数と式

- ・文字式の計算、方程式を解くことなど、基礎的な技能は身につけている。
- ・計算の仕組みを数学的に表現することに課題がある。

図形

- ・図形に関する基礎的な知識は身につけている。
- ・証明の意味や必要性についての理解には課題がある。

関数

- ・比例や1次関数などの関数についての技能的な問題を解くことはできている。
- ・1次関数の意味についての理解や、身の回りにおける事象を数学的にとらえ、問題解決の方法を説明することに課題がある。

資料の活用

- ・資料の整理や確率を求めるなど、基礎的な技能は身につけている。
- ・資料の傾向をとらえ、判断理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

【今後の指導改善方針について】

- ◇ どの領域においても、数学的な表現を用いて、説明する場面を多くする。
- ◇ 「関数」「資料の活用」の領域では、身の回りの事象を多く取り上げ、実生活と数学を結びつける活動、数学的にとらえる活動を充実させる。
- ◇ 証明の意味や必要性の理解を深める活動を充実させる。



【英語】 ……本校生徒の平均正答率は「言語や文化についての知識・理解」、「外国語表現の能力」、「外国語理解の能力」に関するすべてにおいて全国値を上回り、すべての領域において平均正答率が全国を上回る良好な結果であった。

《各領域の状況・課題》

聞くこと

- ・語と語の連結による音変化をとらえたり、教室で指示される英語を理解したりして、情報を正しく聞き取ることにはできている。
- ・「聞いた内容について適切に応じる」ことについて課題があり、相手の質問や依頼、提案などを聞いてそれに対して適切に応答できる力をつけることが必要である。

読むこと

- ・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた内容を正確に読み取る技能は身につけている。
- ・書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることに課題がある。

書くこと

- ・文の中で適切に接続詞を用いたり、一般動詞の人称や時制を正確に書いたりする能力は身につけている。
- ・与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある文章を書くことに若干の課題はあるが、意欲的に回答している。

話すこと(参考値)

- ・基本的な文法を理解して応答したり、与えられたテーマについてまとまりのある内容を話したりする能力は身につけている。
- ・月日など基本的な表現を理解し、正しい文法で応答することに課題があるが、どの問題においても話そうとする意欲は大いに見られる。

【今後の指導改善方策について】

- ◇ 学習した内容を活用する場(話す・書く機会)を多く設ける。
- ◇ 「読む力」をつけるために、一定量の日常的な話題や社会的な話題に関する説明などの英文を読む機会を多くもち、大切な部分を読み取ることができるようにする。
- ◇ 読んだり、聞いたりした内容に関して、自分の考えを整理し、表現できる力(話す、書く)をつけなければならない。

2. 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

■ 自分自身のことについて

● 自尊感情

「自分には良いところがあると思う」という問いに対して、肯定的に回答している生徒は全国値をやや上回っている。

● 将来の夢や挑戦

「将来の夢や目標を持っている」という問いに対して、肯定的に回答をした生徒の割合は、全国値をやや下回っている。

・「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」という問いに対して、肯定的に回答をした生徒は全国値をやや下回っている。

■ 学校生活・学習について

● 規範意識

・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」という問いに対し、肯定的回答は全国値とほぼ同じである。

・「人が困っているときは、すすんで助けていますか」という問いに肯定的な回答をした生徒の割合は全国値をやや下回る。

● 学習に関する関心・意欲・態度

・「国語の勉強は好き」「英語の勉強は好き」と肯定的に回答した生徒は全国値を大きく上回る。

・「数学の勉強は好き」と肯定的に回答した生徒は全国値とほぼ同じである。

・「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」という問いに対して肯定的に回答をした生徒の割合は、全国値をやや下回る。

■ 家庭生活について

- ・「朝食を毎日食べている」と肯定的に答えた生徒の割合は全国値とほぼ同じである。
- ・「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という問いに対し、肯定的に回答している生徒の割合は全国値をやや上回っている。
- ・「家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか」という問いに対し、肯定的に回答している割合は、全国値とほぼ同じである。

● 家庭学習

- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」として肯定的に回答をした生徒は全国も本校も半数の割合である。
- ・「学校の授業以外に普段(平日)1日当たりどれくらいの時間勉強しますか(塾・家庭教師等も含む)」に対して「2時間以上」と回答した割合は全国値を大きく上回る。

● 読書・新聞について

- ・「学校の授業時間以外に普段(平日)1日当たりどれくらいの時間読書を読みますか(漫画や雑誌は除く)」という問いに対して「全くしない」と答えた割合は全国値を大きく上回る。
- ・「読書は好きである」と肯定的に回答をした生徒の割合は全国値を下回っている。
- ・「新聞を読んでいる」と肯定的な回答をした生徒は全国値をやや上回っている。

3. 今後の取り組み

本調査の傾向・課題を踏まえ、学力向上のために、**1. 教科に関する調査結果の分析** に示している【今後の指導改善方策】に力を入れ、子どもたちが学ぶ意欲を高めることができるよう、教員の指導力の向上、研究、実践等を進めてまいります。

また、子どもたちが、なぜ学ばなければならないのか、今の学習が将来どのように役立つのかといったことなどについての発見や自覚が、日頃の学習に対する姿勢の改善につながります。そして、そのことがさらなる発見や、より深い学習に結びつくものであることから、教科学習だけでなく、すべての教育活動において、学ぶ意義や意欲を見いだせるよう、その充実発展を図ってまいります。

3年生は自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、進路を選択決定する時期となりました。学校と家庭が子どもを中心にしっかりと連携し、生活習慣や学習環境の改善、意識面の向上がさらに図れるよう、丁寧に取り組んでまいります。今後とも、学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

